令和４年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省）

年次レポート

家庭の省エネアンケート、及び、気候変動・省エネに関する認知度アンケートの集計結果報告書

令和５年２月

一般社団法人環境創造研究センター

目　　次

1. 調査の実施概要 ····· **1**

2. 回答者及び回答者の家庭、住宅等の属性 ····· **7**

3. 家庭の省エネアンケート ····· **11**

3.1 家電ごとの省エネ行動の実施状況 ····· 11

3.2 省エネ行動の実施が難しい理由 ····· 22

4. 気候変動・省エネに関する認知度アンケート ····· **29**

5. 自由記入欄に記述された意見 ····· **43**

1. 調査の実施概要

1.1.1 調査の目的

本レポートは、愛知県の一般県民を対象に、家庭の日常生活における省エネ行動の実施状況と、気候変動問題や省エネ・節電に関わる事項に対する認知度・認識度について把握するアンケート調査を実施し、その集計・分析結果を取りまとめたものである。

本調査はウェブサイト等で公開し、推進員、関係機関、当センターが実施する地球温暖化防止活動とその普及啓発活動において、参考資料、参考データとして活用されることを目的に実施した。

1.1.2 調査対象（回収数）

- 令和 4 年 7 月~10 月にかけて行われた下記の 4 つのイベントの来場者および関係者を対象に、調査票の配布・回収を行った。
- その結果、合計 203 部の回答済み調査票を回収した（有効票のみカウント）。

開催日	開催地域	調査を実施した出展イベントなど	回収数
7 月 31 日	田原文化会館・田原市総合体育館（田原市）	たはらエコフェスタ	9
9 月 10,11 日	豊田スタジアム（豊田市）	とよた産業フェスタ	101
9 月 17 日	久屋大通公園（名古屋市）	環境デーなごや	54
10 月 6～8 日	愛知県国際展示場（AichiSky Expo）（常滑市）	SDGs AICHI EXPO 2022	39
サンプル数・計／ｎ数			203

1.1.3 調査方法

調査票	・調査票の規格：A4 サイズ・全 4 頁（表紙の調査趣旨説明、裏表紙のクールチョイスＰＲ含む／設問は約 2.5 頁）・モノクロ
	・調査項目は、「家庭の省エネアンケート」「気候変動・省エネに関する認知度アンケート」の 2 部構成となっている。 ※前者は全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）が作成した設問項目で、後者は環境創造研究センターが作成した設問項目である。
調査方法	・回答者自身が調査票へ直接記入・記述する調査方法により実施。
配布・回収法方	・イベント来場者が当センターの出展ブースへ立ち寄った際に、調査協力を呼びかけ、その場で記入回答、回収。

1.1.4　調査項目（調査票）

令和４年調査票

温室効果ガス排出実態アンケート調査

調査主体：　愛知県地球温暖化防止活動推進センター
（一般社団法人環境創造研究センター内）

環境省の事業である「地域における地球温暖化防止活動促進事業」の一環として、家庭からの温室効果ガス排出実態調査を実施しています。
ご家庭での家電の使用状況、省エネ行動についておたずねしているアンケートです。
ぜひご協力ください！

- 選択肢の番号に○をつけてください。
- または、下線部等に該当する言葉・数字等をご記入ください。
- わからない質問はおおよその回答で結構です。

あなたご自身について

1．現在お住まいの市町村をお答えください。

愛知県 ＿＿＿＿＿＿＿＿市・町・村

2．あなたの性別をお答えください。

1 男性　2 女性　3 その他　4 無回答

3．あなたの年齢をお答えください。

1 １０代以下　2 ２０代　3 ３０代　4 ４０代
5 ５０代　6 ６０代　7 ７０代以上

4．ご自宅の住居形態をお答えください。

1 一戸建て　2 集合住宅　3 その他（　　）

5．ご自身を含めた、ご自宅の世帯人数をお答えください。

＿＿＿＿＿＿＿＿ 人

1/4

調査票・表紙

あなたの省エネ行動について

6. 下の省エネ行動について、あなたの実施状況として「**1.**」～「**4.**」の中であてはまるものに、○をつけてください。使っていない、または、持っていない家電などであった場合は、「**4.**持っていない」に○をつけてください。（○はそれぞれ１つのみ）

家電など		省エネ行動	1.既に実施している	2.これから実施したいと思う	3.これからも実施するのは難しい	4.持っていない
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	1	2	3	4
	2	物を詰め込みすぎないようにする	1	2	3	
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	1	2	3	4
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	1	2	3	4
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	1	2	3	
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	1	2	3	4
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	1	2	3	
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	1	2	3	4
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	1	2	3	4
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	1	2	3	
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	1	2	3	4
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	1	2	3	
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	1	2	3	4
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	1	2	3	
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	1	2	3	

「3.」に１つでも○がある人は下の問７へ（なければ右ページの問８へ）

7. （※問６．で、1つでも「**3.** これからも実施するのは難しい」に○を付けた方のみお答えください）
「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由として一番あてはまるもの１つに○をつけてください。

1 環境を守れると思わないから
2 社会の役に立つと思わないから
3 責任を感じないから
4 やりがいや達成感が得られないから
5 社会から評価を受けられないと考えたから
6 周囲がやっていないから
7 お金の節約にならないから
8 設定などが面倒だから
9 快適さが損なわれるのが嫌だから
10 家族の生活サイクルが個々にちがっているから
11 小さな子どもがいるため難しいから
12 特に理由はない
13 その他（具体的な理由をお書きください：　　）

2/4

調査票・設問ページ①

気候変動、省エネ等で知っていることについて

8. 下の 1～14 について、あなたが既に知っていることには「**1.**」に、なんとなく聞いたこと・見たことがあると思ったものには「**2.**」に、今までまったく知らなかったものには「**3.**」に○をつけてください。（○はそれぞれ一つずつ）

		1. 知っていた	2. 聞いたことはある	3. 全く知らなかった
1	2015 年の**パリ協定**で、気温上昇を**+1.5℃未満に抑える**という目標が定められたことを･･･	1	2	3
2	1.5℃未満という目標に対して、**すでに 1.1℃上昇**していることを･･･	1	2	3
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も**「2050 年カーボンニュートラル宣言」**（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを･･･	1	2	3
4	地球温暖化は、**SDGs（持続可能な開発目標）**においても重要な課題として位置付けられていることを･･･	1	2	3
5	地球温暖化を予測した**眞鍋淑郎**（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを･･･	1	2	3
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には**最大で 4.5℃上がる**と予測されていることを･･･	1	2	3
7	温暖化が進むと、**夏の猛暑や大雨、台風**がさらに激しくなったり、暑さによる**熱中症**や**感染症**が増えたり、**大雨による土砂災害**や**水害**が増えると考えられていることを･･･	1	2	3
8	温暖化によって、**農作物**の収量が減ったり、味が落ちたりすることを･･･	1	2	3
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の**絶滅の危険性が高まる**ことを･･･	1	2	3
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、**気候危機**と呼ばれるほど深刻になってきていることを･･･	1	2	3
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は**不可逆的である（元に戻せない）**ことを･･･	1	2	3
12	家庭で**消費電力量が大きい家電**は、**①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコン**であることを･･･	1	2	3
13	10 年前に比べると、家電製品によっては **3 割～8 割も電気代がお得**（冷蔵庫 43%、テレビ 32%。、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを･･･	1	2	3
14	**住宅の断熱**によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、**病気になる率が激減**していることを･･･	1	2	3

9. 自由記入欄（省エネ・節電等で疑問に思っていることなど、自由にご記入ください）

調査票・設問ページ②

最後に、環境省「COOL CHOICE」にご賛同ください

地球温暖化対策のための「COOL CHOICE（＝賢い選択）」

2015 年、すべての国が参加する形で、2020 年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を 2℃未満にする（さらに、1.5℃に抑える努力をする）こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。

「COOL CHOICE」は、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買い替え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、今選択できるアクションを選ぶ。

あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」にご参加ください。

☐ 私は「COOL CHOICE（クールチョイス）」に賛同し、行動することを宣言します。

（※参加の意思を表すものとして ✓（チェック）を入れてください。）

メールアドレス または ニックネーム ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日　付＿＿＿＿＿＿年　　月　　日

これから取り組みたい COOLCHOICE にチェックを入れてください！ ※複数選択可

☐ **COOL BIZ**（クールビズ）
夏季の冷房時の室温を28℃(目安)に。涼しいファッションで、快適で省エネに過ごすライフスタイル。

☐ **WARM BIZ**（ウォームビズ）
冬季の暖房時の室温を20℃(目安)に。首・手首・足首の「3つの首」をあたため、省エネに過ごすライフスタイル。

☐ **smart move**
徒歩や自転車、公共交通機関を利用し、「移動」を「エコ」に。健康で快適な新しい移動のスタイルにチャレンジ！

☐ **ECO DRIVE**
アクセル操作一つで、お財布にも環境にも優しく、安全運転にもなる。すぐに実践できる、それがエコドライブ。

☐ **COOL CHOICE 5つ星家電買換えキャンペーン**
賢い選択 ★★★★★ 5つ星家電
統一省エネルギーラベルの星の数が多い家電への買換えや、LED照明への買換え・交換。

☐ **COOL CHOICE エコ住キャンペーン**
高断熱・省エネ住宅への買換えや、断熱や水回りの省エネリフォーム。

☐ **COOL CHOICE できるだけ1回で受け取りませんかキャンペーン**
1回で受け取りませんか
CO₂排出量の増加を招く宅配便の再配達を防ぐため、できるだけ1回での荷物の受け取り。

☐ **COOL CHOICE チョイス！エコカーキャンペーン**
eco チョイス!エコカー
買っておトク！乗っておトク！使って「地球」にやさしいエコカーに買換え。

4/4

調査票・設問ページ③（裏表紙）

1.1.5　集計方法について

- 集計結果の各割合（%）は、各設問における回答者数を基数(n)として算出しており（「不明」、「無回答」を除いていない）、複数回答の設問では、その合計が 100%を超えることがある。
- 回答割合の集計・算出は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数値の合計が 100.0%にならないものもある。

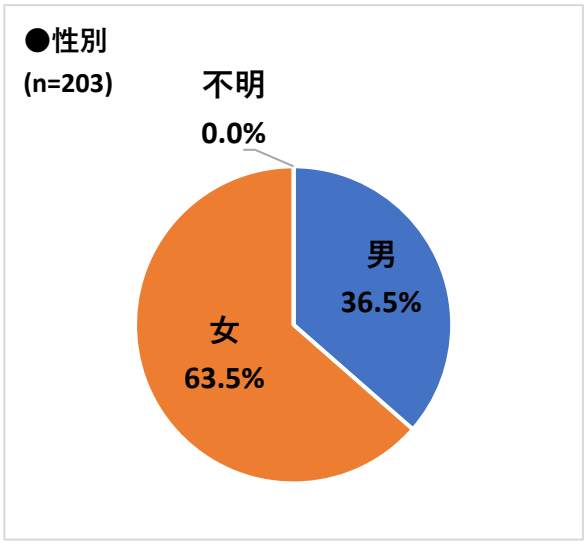
※　各集計結果（表及びグラフ）で、属性ごとの回答者数を基数「n= 」として表示しており、n 数値が少ない（回答者数が少ない）属性の集計結果については、各回答割合の参照に際し、誤差が多分に含まれていることを前提とした注意を要する。

2. 回答者及び回答者の家庭、住宅等の属性

2.1.1 回答者の属性

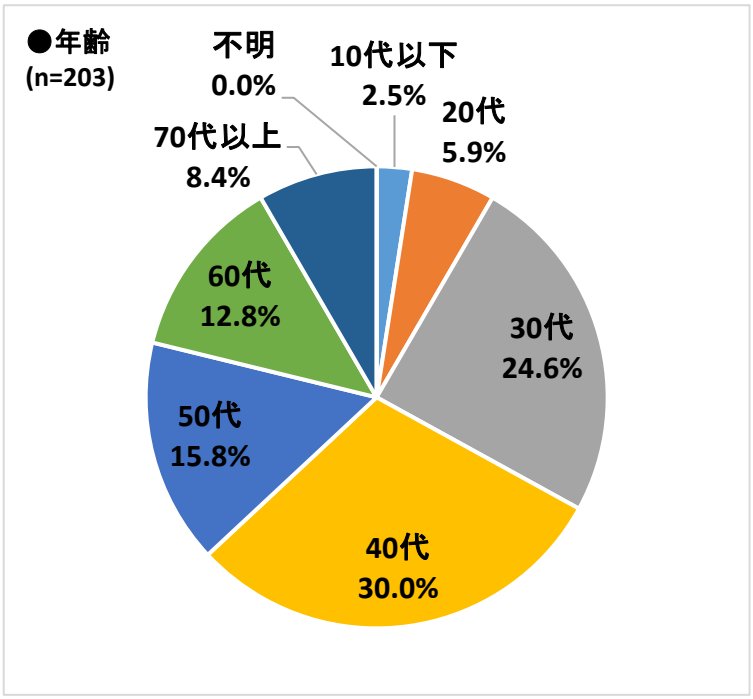
2.1.1.1 性別

- 回答者を男女別にみると、<女性>が 6 割以上を占めている。



2.1.1.2 年齢

- 回答者の年齢は<40 代>が 3 割と最も多く、次いで<30 代>が 2 割強、<50 代>と<60 代>がそれぞれ 1 割強となっている。<10 代以下>と<20 代>、<70 代>は 1 割に満たないものの、全体として幅広い世代の回答が得られている。



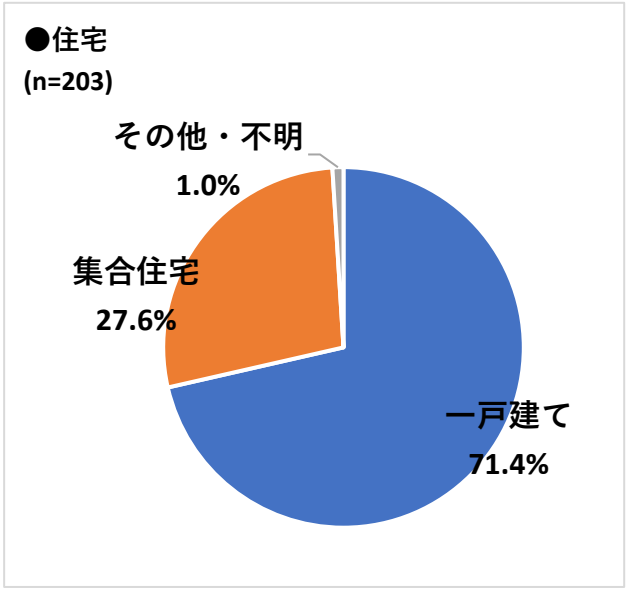
2.1.1.3 居住地域

- 回答者を居住地域別にみると、豊田市在住者が最も多く全体の４割弱、次いで名古屋市在住者が３割弱を占めている。また、地方別にみると、＜尾張地方＞が４割、＜西三河地方＞と＜東三河地方＞を合わせて５割強となっている。

●居住地域		
項目	回答者数	割合
名古屋市、日進市などの「尾張地方」	***81***	***39.9%***
名古屋市	56	27.6%
愛西市	2	1.0%
一宮市	2	1.0%
大府市	2	1.0%
尾張旭市	2	1.0%
春日井市	2	1.0%
清須市	2	1.0%
瀬戸市	2	1.0%
知多市	2	1.0%
半田市	2	1.0%
阿久比町	1	0.5%
犬山市	1	0.5%
江南市	1	0.5%
津島市	1	0.5%
長久手市	1	0.5%
日進市	1	0.5%
南知多町	1	0.5%
豊田市などの「西三河地方」	***100***	***49.3%***
豊田市	79	38.9%
岡崎市	6	3.0%
高浜市	4	2.0%
みよし市	4	2.0%
知立市	3	1.5%
刈谷市	2	1.0%
安城市	1	0.5%
西尾市	1	0.5%
田原市などの「東三河地方」	***16***	***7.9%***
豊橋市	6	3.0%
蒲郡市	3	1.5%
田原市	3	1.5%
豊川市	3	1.5%
新城市	1	0.5%
その他・不明等	***6***	***3.0%***
香川県	1	0.5%
岐阜県	1	0.5%
静岡県	1	0.5%
東京都	1	0.5%
広島県	1	0.5%
不明	1	0.5%
総計	203	100.0%

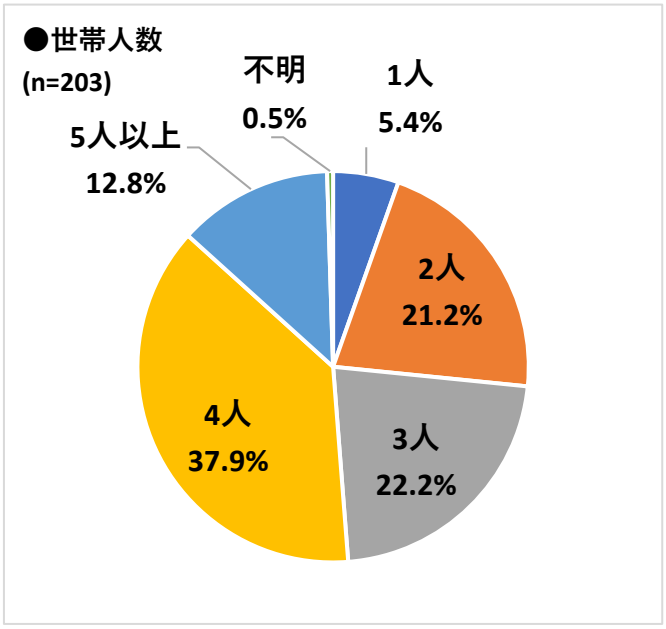
2.1.1.4　回答者の住宅

- 回答者の住宅については、7 割強が<一戸建て>であり、<集合住宅>が 3 割弱となっている。



2.1.1.5　世帯人数

- 世帯人数については、<4 人>世帯が 4 割弱、次いで<3 人>世帯と<2 人>世帯が 2 割強となっている。
- 一方、<1 人 >世帯は 1 割未満と少なくなっている。



2.1.1.6 属性別回答者数

属性項目			回答者数		
居住地域	性別	年齢			
名古屋市、日進市などの「尾張地方」	男性	10代以下	1	31	81
		20代	4		
		40代	6		
		50代	4		
		60代	10		
		70代以上	6		
	女性	10代以下	3	50	
		20代	2		
		30代	12		
		40代	17		
		50代	10		
		60代	3		
		70代以上	3		
豊田市などの「西三河地方」	男性	20代	1	34	100
		30代	13		
		40代	12		
		50代	3		
		60代	2		
		70代以上	3		
	女性	10代以下	1	66	
		20代	1		
		30代	20		
		40代	22		
		50代	11		
		60代	8		
		70代以上	3		
田原市などの「東三河地方」	男性	30代	1	8	16
		40代	2		
		50代	2		
		60代	2		
		70代以上	1		
	女性	30代	3	8	
		40代	2		
		50代	2		
		70代以上	1		
その他・不明等	男性	60代	1	1	6
	女性	20代	4	5	
		30代	1		
総計			203		

属性項目			回答者数		
居住地域	住宅	世帯人数			
名古屋市、日進市などの「尾張地方」	一戸建て	1人	1	47	81
		2人	12		
		3人	14		
		4人	15		
		5人	5		
	集合住宅	1人	4	33	
		2人	13		
		3人	4		
		4人	9		
		5人	1		
		6人	2		
	その他	不明	1	1	
豊田市などの「西三河地方」	一戸建て	1人	1	80	100
		2人	11		
		3人	21		
		4人	37		
		5人	7		
		6人	1		
		7人	2		
	集合住宅	1人	2	19	
		2人	3		
		3人	5		
		4人	6		
		5人	3		
	その他	1人	1	1	
田原市などの「東三河地方」	一戸建て	2人	3	15	16
		4人	8		
		5人	2		
		7人	2		
	集合住宅	3	1	1	
その他・不明等	一戸建て	2人	1	3	6
		4人	1		
		5人	1		
	集合住宅	1人	2	3	
		4人	1		
総計			203		

3. 家庭の省エネアンケート

3.1 家電ごとの省エネ行動の実施状況

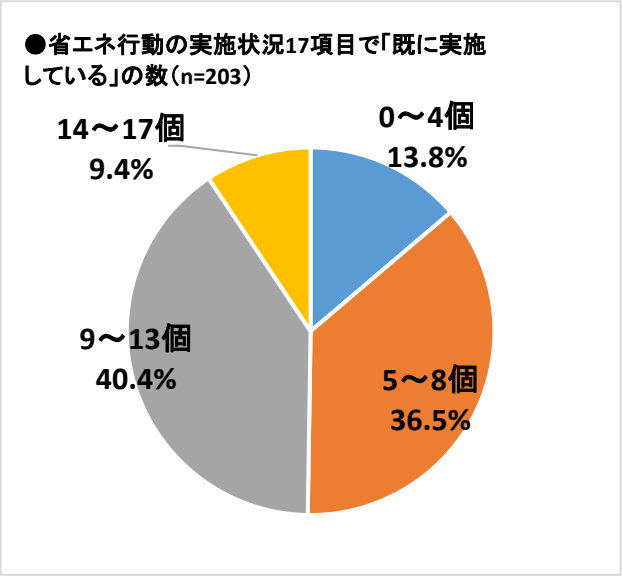
3.1.1 全体

- 家庭の省エネ行動に関する全 17 項目の実施状況について、それぞれ実施の有無、または実施意向についてたずねた結果は下表の通りである。
- 「冷蔵庫」「照明器具」「テレビ」「エアコン（設定温度の目安）」「風呂給湯器」「自動車」に関わる省エネ行動は、「既に実施している」割合が高く、省エネを意識した使用方法が浸透していることがうかがえる。
- 「エアコン（フィルター清掃）」については、「既に実施している」が 2 割強と少ないが、「これから実施したいと思う」割合が過半数を超えており、多くの回答者が実施する必要のあると認識しながらもなかなか実施できていない省エネ行動であることがうかがえる。
- 17 項目のいずれも「これからも実施するのは難しい」の割合は低いが、その中で「エアコン（設定温度の目安）」は比較的高くなっており、2022 年の夏の暑さの影響が考えられる。
- 「電気カーペット」「ガスファンヒーター」「石油ファンヒーター」は「持っていない／該当しない」の割合がそれぞれ 4～6 割を超えており、使用の少ない家電になっている。

●省エネ行動の実施状況（n=203）

			既に実施している	これから実施したいと思う	これからも実施するのは難しい	持っていない/該当しない	無回答
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	63.1%	31.5%	4.4%	1.0%	0.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	53.2%	37.4%	7.4%	1.0%	1.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	76.8%	19.2%	1.5%	2.5%	0.0%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	56.7%	38.9%	2.0%	1.0%	1.5%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	55.7%	27.1%	16.3%	1.0%	0.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	25.6%	64.5%	8.4%	1.0%	0.5%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	60.1%	31.0%	7.4%	1.0%	0.5%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	77.8%	19.2%	1.5%	1.0%	0.5%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	43.8%	34.0%	7.9%	14.3%	0.0%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	36.5%	15.8%	1.0%	44.8%	2.0%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	25.6%	8.9%	2.5%	61.6%	1.5%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	29.6%	7.4%	1.5%	60.1%	1.5%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	23.6%	10.8%	1.0%	61.6%	3.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	27.1%	8.9%	0.5%	60.6%	3.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	67.0%	16.7%	0.0%	14.8%	1.5%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	66.5%	16.3%	0.0%	15.3%	2.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	60.6%	20.7%	1.0%	15.3%	2.5%

- 家電使用の省エネ行動 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数をみると、回答者の４割強が「9～13 個」の項目を実施していると答え、次いで、3 割強が「5～8 個」の項目を実施していると答えている。
- 家電使用の省エネ行動 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目数のうち、「0～4 個」と「5～8 個」と答えた回答者を合わせるとほぼ半数となっており、実施されている省エネ行動は多いとは言えない。



3.1.2　居住地域別

- 回答者の居住地域別に「既に実施している」の割合をみると、全般的に大きな差異は見られない。
- その中で、「自動車」は、＜尾張地方＞の実施している割合が他の地域に比べ低くなっている。一方で、「冷蔵庫（設定温度の変更）」「テレビ」「エアコン（フィルター清掃）」「ガスファンヒーター」は、実施している割合が他の地域に比べて高くなっている。

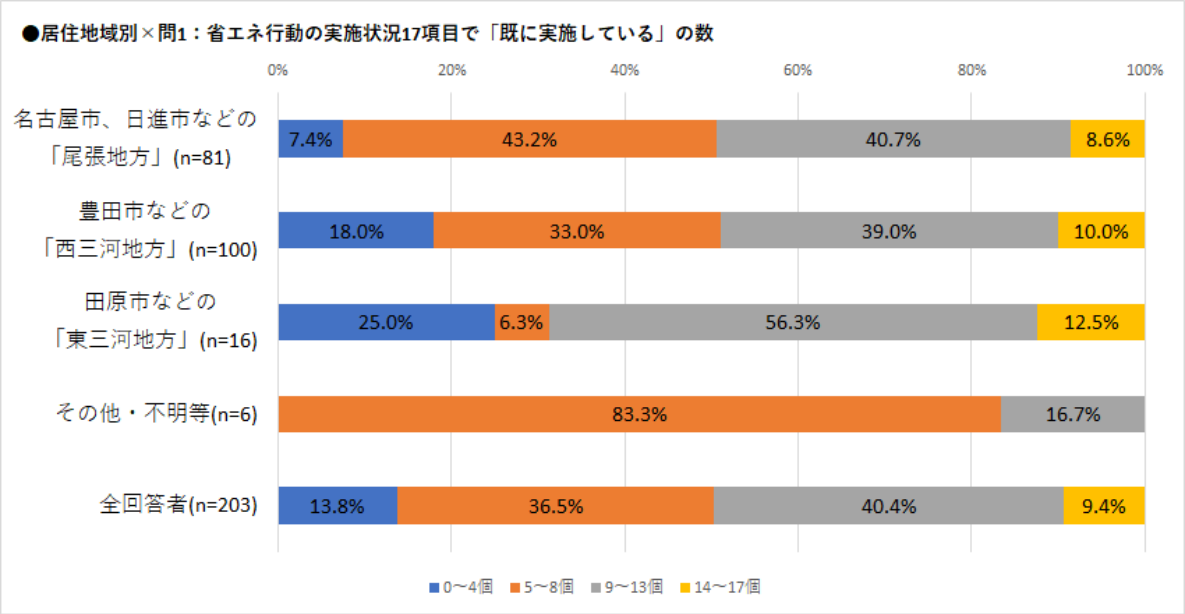
3.1.2居住地域別

省エネ行動			「既に実施している」 居住地域 名古屋市、日進市などの「尾張地方」(n=81)	豊田市などの「西三河地方」(n=100)	田原市などの「東三河地方」(n=16)	その他・不明など(n=6)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	70.4%	61.0%	56.3%	16.7%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	51.9%	54.0%	56.3%	50.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	77.8%	76.0%	81.3%	66.7%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	64.2%	51.0%	50.0%	66.7%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	61.7%	50.0%	62.5%	50.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	33.3%	22.0%	18.8%	0.0%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	54.3%	63.0%	62.5%	83.3%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	79.0%	79.0%	62.5%	83.3%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	51.9%	36.0%	50.0%	50.0%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	39.5%	35.0%	37.5%	16.7%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	25.9%	25.0%	37.5%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	35.8%	25.0%	37.5%	0.0%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	35.8%	15.0%	25.0%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	34.6%	21.0%	31.3%	16.7%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	58.0%	74.0%	81.3%	33.3%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	56.8%	75.0%	75.0%	33.3%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	50.6%	68.0%	75.0%	33.3%

- 居住地域別に「これからも実施するのが難しい」の割合をみると、いずれの地域も 17 項目すべて低くなっているが、そのなかで「エアコン（設定温度の目安）」の割合が若干高い。
- <東三河地方>では、「石油ファンヒーター（室温の目安）」「ガスファンヒーター（室温の目安）」の実施が難しいとする割合が他の地域に比べて高くなっている。
- <尾張地方>の「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」の実施が難しいとする割合が他の地域に比べて高くなっている。

			「これからも実施するのは難しい」			
		居住地域	名古屋市、日進市などの「尾張地方」(n=81)	豊田市などの「西三河地方」(n=100)	田原市などの「東三河地方」(n=16)	その他・不明など(n=6)
省エネ行動						
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	2.5%	6.0%	0.0%	16.7%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	7.4%	8.0%	0.0%	16.7%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	2.5%	1.0%	0.0%	0.0%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	1.2%	2.0%	6.3%	0.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	16.0%	16.0%	12.5%	33.3%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	8.6%	8.0%	6.3%	16.7%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	12.3%	4.0%	6.3%	0.0%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	0.0%	2.0%	6.3%	0.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	6.2%	11.0%	0.0%	0.0%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	1.2%	2.0%	12.5%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	1.2%	1.0%	6.3%	0.0%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	1.2%	0.0%	6.3%	0.0%

- 居住地域別に、17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数をみると、<東三河地方>在住者の「既に実施している」と答えた項目数が、他地域に比べて多くなっている。



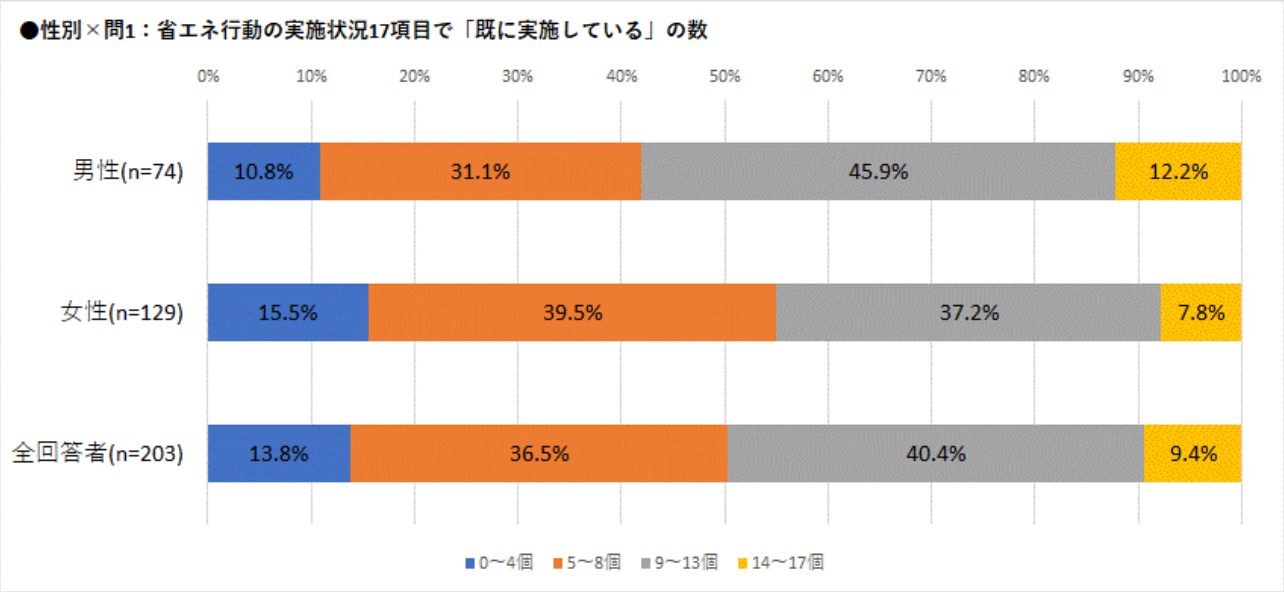
3.1.3 男女別

- 男女別に家電使用の省エネ行動における「既に実施している」の割合をみると、全般的に大きな差は見られないものの、「自動車」の運転に関わる 3 項目については<男性>の「既に実施している」の割合が<女性>に比べてかなり高くなっている。
- 「これからも実施するのは難しい」の割合についても、男女で全般的に大きな差は見られない。
- 「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」「電気ポット」で、<女性>の「既に実施している」の割合が高い一方、「電気カーペット」「石油ファンヒーター（使用時間を減らす）」「ガスファンヒーター」で、<男性>の「既に実施している」の割合が高くなっている。

3.1.3男女別

			「既に実施している」		「これからも実施するのは難しい」	
		性別	男性 (n=74)	女性 (n=129)	男性 (n=74)	女性 (n=129)
省エネ行動						
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	62.2%	63.6%	5.4%	3.9%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	51.4%	54.3%	6.8%	7.8%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	79.7%	75.2%	1.4%	1.6%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	60.8%	54.3%	4.1%	0.8%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	56.8%	55.0%	18.9%	14.7%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	27.0%	24.8%	8.1%	8.5%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	54.1%	63.6%	8.1%	7.0%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	74.3%	79.8%	1.4%	1.6%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	36.5%	48.1%	5.4%	9.3%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	41.9%	33.3%	0.0%	1.6%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	27.0%	24.8%	2.7%	2.3%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	36.5%	25.6%	1.4%	1.6%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	28.4%	20.9%	2.7%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	33.8%	23.3%	1.4%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	82.4%	58.1%	0.0%	0.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	79.7%	58.9%	0.0%	0.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	78.4%	50.4%	2.7%	0.0%

- 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を男女別にみると、<女性>は「0～4 個」「5~8 個」の項目を実施しているという回答が<男性>より多く、逆に<男性>は「9～13 個」「14～17 個」の項目を実施しているという回答が<女性>より多くなっている。



3.1.4 年齢別

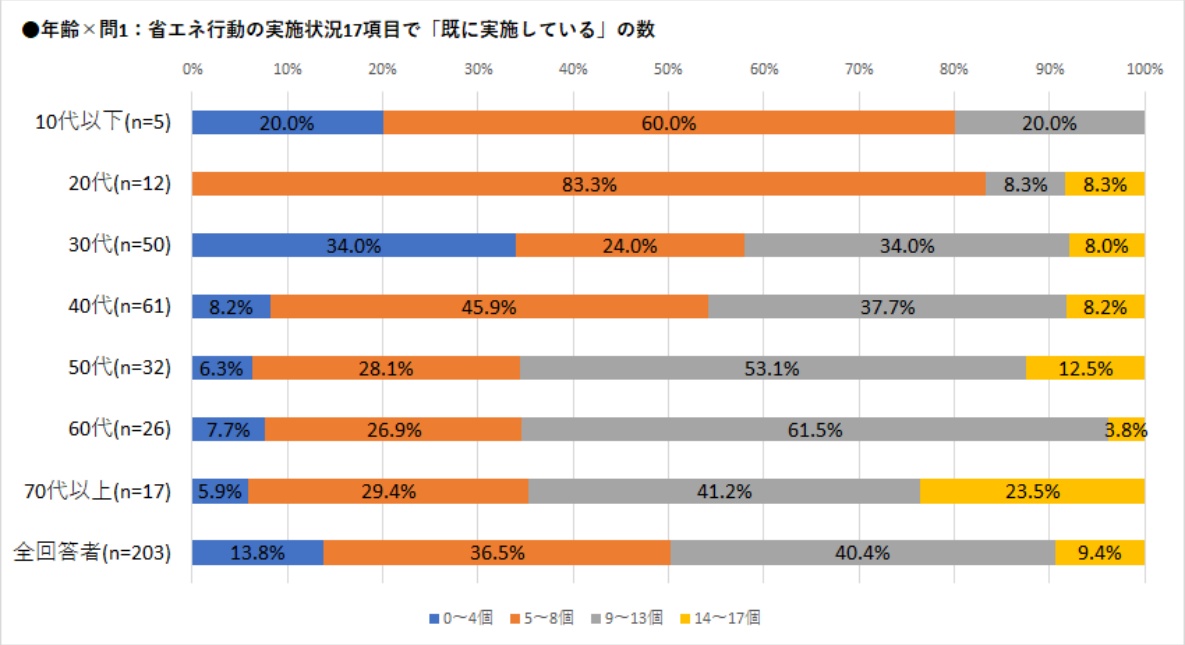
- 年齢別に家電使用の省エネ行動における「既に実施している」の割合を見ると、全体的に<70 代>で他の年齢よりも高く、逆に<20 代>と<30 代>で低くなっている。
- そのなかで、「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」では、<70 代>の「既に実施している」の割合が他の年齢に比べて低くなっている。
- 「自動車」「電気カーペット」では、<20 代>の「既に実施している」の割合が他の年齢よりも低い一方で、「風呂給湯器（シャワーは流しっぱなしにしない）」の割合が特に高くなっている。

			「既に実施している」						
		年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
省エネ行動			(n=5)	(n=12)	(n=50)	(n=61)	(n=32)	(n=26)	(n=17)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	40.0%	25.0%	54.0%	62.3%	78.1%	73.1%	82.4%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	60.0%	50.0%	60.0%	34.4%	68.8%	46.2%	82.4%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	100.0%	58.3%	74.0%	80.3%	75.0%	76.9%	82.4%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	80.0%	66.7%	44.0%	57.4%	62.5%	50.0%	76.5%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	60.0%	58.3%	46.0%	50.8%	68.8%	50.0%	82.4%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	20.0%	16.7%	20.0%	21.3%	28.1%	42.3%	35.3%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	60.0%	75.0%	56.0%	59.0%	68.8%	61.5%	47.1%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	80.0%	100.0%	74.0%	75.4%	78.1%	73.1%	88.2%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	40.0%	33.3%	32.0%	42.6%	56.3%	57.7%	47.1%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	40.0%	0.0%	26.0%	41.0%	40.6%	46.2%	52.9%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	20.0%	16.7%	16.0%	21.3%	37.5%	30.8%	47.1%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	40.0%	25.0%	16.0%	29.5%	34.4%	38.5%	47.1%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	20.0%	25.0%	16.0%	21.3%	28.1%	34.6%	29.4%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	20.0%	25.0%	16.0%	26.2%	34.4%	42.3%	29.4%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	50.0%	68.0%	68.9%	75.0%	65.4%	76.5%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	41.7%	70.0%	73.8%	75.0%	53.8%	70.6%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	0.0%	50.0%	54.0%	67.2%	68.8%	57.7%	70.6%

- 年齢別に「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、多くの年齢で「冷蔵庫（詰め込み過ぎない）」「エアコン（室内温度の目安）」「電気ポット」が高くなっている。
- <10 代>と<70 代>で「これからも実施するのは難しい」と答えた項目が少なく、逆に<20 代>~<60 代>で「これからも実施するのは難しい」と答えた項目が多くなっている。

			「これからも実施するのは難しい」						
		年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
省エネ行動			(n=5)	(n=12)	(n=50)	(n=61)	(n=32)	(n=26)	(n=17)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	0.0%	16.7%	4.0%	3.3%	6.3%	3.8%	0.0%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	20.0%	8.3%	6.0%	11.5%	3.1%	7.7%	0.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.1%	0.0%	5.9%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.1%	7.7%	0.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	0.0%	25.0%	20.0%	18.0%	15.6%	15.4%	0.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	0.0%	16.7%	14.0%	4.9%	9.4%	3.8%	5.9%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	0.0%	0.0%	2.0%	9.8%	9.4%	11.5%	11.8%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	3.8%	0.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	0.0%	16.7%	14.0%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	0.0%	0.0%	2.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	2.0%	3.3%	0.0%	7.7%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	0.0%	0.0%	2.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	3.8%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	5.9%

- 17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数を年齢別にみると、全体として、年齢が下がるほど「既に実施している」と答えた項目の数が少なく、<50 代><60 代><70 代>の「既に実施している」項目の数が多くなっている。



3.1.5 世帯人数別

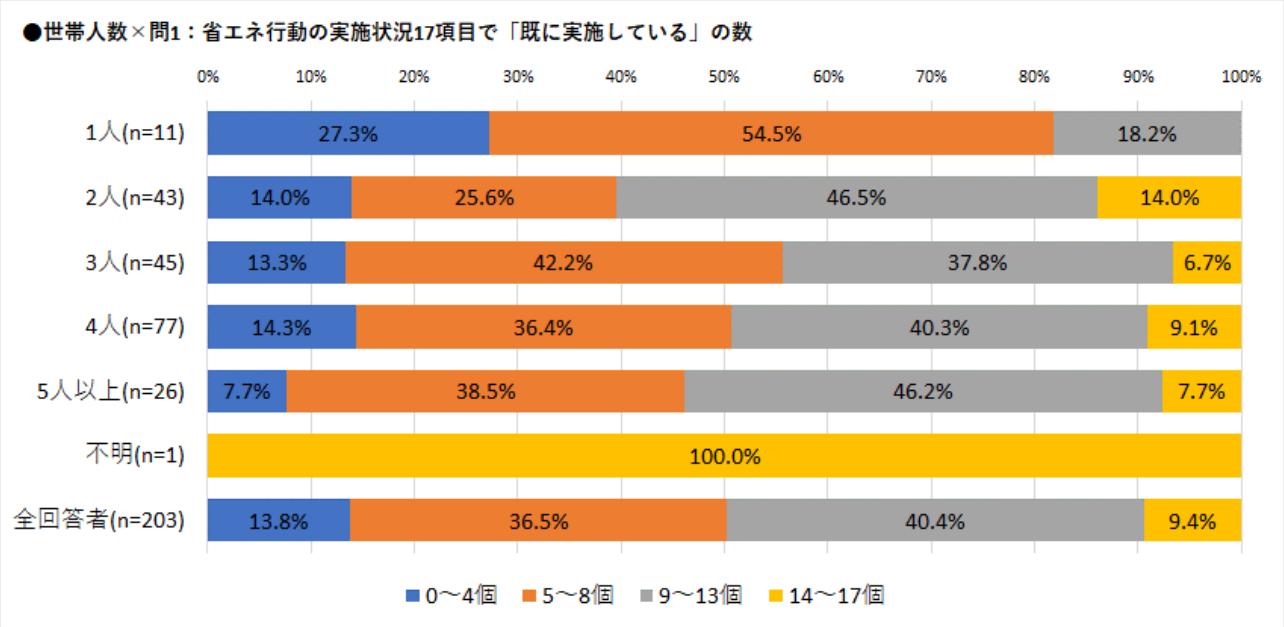
- 回答者の家庭の世帯人数別に「既に実施している」の割合をみると、世帯の人数が多いほど「冷蔵庫（詰め込みすぎない）」「エアコン（温度設定の目安）」の実施している割合が低くなっている。一方、「風呂給湯器（シャワーは流したままにしない）」の実施している割合は、世帯の人数が多いほど高くなっている。
- <1 人>世帯で「テレビ」の実施している割合が高い。
- <2 人>世帯で「照明器具」の実施している割合が低い。
- 「ガスファンヒーター」については、<2 人>世帯と< 3 人>世帯で、「石油ファンヒーター」については、<2 人>世帯と< 5 人以上>世帯で「既に実施している」の割合が高くなっている。
- 「自動車」の運転の省エネ行動については、<5 人以上>世帯の実施している割合が高くなっている。

			「既に実施している」				
		世帯人数	1人	2人	3人	4人	5人以上
省エネ行動			(n=11)	(n=43)	(n=45)	(n=77)	(n=26)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	45.5%	72.1%	62.2%	62.3%	57.7%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	63.6%	62.8%	48.9%	49.4%	50.0%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	81.8%	62.8%	80.0%	80.5%	80.8%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	72.7%	53.5%	51.1%	58.4%	57.7%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	63.6%	65.1%	48.9%	54.5%	50.0%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	18.2%	30.2%	20.0%	28.6%	19.2%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	72.7%	65.1%	46.7%	61.0%	65.4%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	63.6%	79.1%	75.6%	79.2%	80.8%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	36.4%	55.8%	48.9%	35.1%	42.3%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	9.1%	44.2%	33.3%	33.8%	46.2%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	0.0%	30.2%	24.4%	22.1%	38.5%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	9.1%	37.2%	28.9%	23.4%	42.3%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	9.1%	27.9%	26.7%	20.8%	23.1%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	9.1%	32.6%	37.8%	20.8%	23.1%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	9.1%	76.7%	60.0%	67.5%	84.6%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	9.1%	72.1%	64.4%	70.1%	76.9%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	0.0%	62.8%	60.0%	66.2%	69.2%

- 世帯人数別に「これからも実施するのは難しい」の割合をみると、全体的に「エアコン（室内温度の目安）」の割合が高くなっている。
- 一方で、「エアコン（フィルター清掃）」は、<2 人>世帯で「これからも実施するのは難しい」の割合が高くなっている。
- 「冷蔵庫（設定温度）」は、<1 人>世帯と<2 人>世帯で「これからも実施するのは難しい」の割合が他の人数世帯に比べて高くなっている。また、<1 人>世帯では、「電気ポット」「石油ファンヒーター（室温の目安）」についても、「これからも実施するのは難しい」の割合が高くなっている。

			「これからも実施するのは難しい」				
		世帯人数	1人	2人	3人	4人	5人以上
省エネ行動			(n=11)	(n=43)	(n=45)	(n=77)	(n=26)
冷蔵庫	1	設定温度を強から中に変更する	9.1%	9.3%	6.7%	0.0%	3.8%
	2	物を詰め込みすぎないようにする	9.1%	7.0%	4.4%	9.1%	7.7%
照明器具	3	白熱電球をLED電球に取り替える	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	3.8%
テレビ	4	画面は明るすぎないように調節する	0.0%	7.0%	2.2%	0.0%	0.0%
エアコン	5	夏の冷房時の室温は28℃、冬の暖房時の室温は20℃を目安にする	18.2%	14.0%	13.3%	18.2%	19.2%
	6	フィルターを月に1回、2回清掃する	9.1%	16.3%	4.4%	5.2%	11.5%
風呂給湯器	7	間隔をあけずに入浴する	0.0%	7.0%	8.9%	7.8%	7.7%
	8	シャワー（温水）は流したままにしない	0.0%	4.7%	2.2%	0.0%	0.0%
電気ポット	9	長時間使用しないときは電源プラグを抜く	18.2%	4.7%	0.0%	10.4%	15.4%
電気カーペット	10	設定温度は低めにする	0.0%	2.3%	2.2%	0.0%	0.0%
石油ファンヒーター	11	室温は20℃を目安にする	9.1%	2.3%	4.4%	1.3%	0.0%
	12	着るものなどで工夫して使用時間を減らす	0.0%	0.0%	4.4%	1.3%	0.0%
ガスファンヒーター	13	室温は20℃を目安にする	0.0%	2.3%	0.0%	1.3%	0.0%
	14	寝る前や出掛けるときは早めにOFFにする	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
自動車	15	発進時のアクセルはゆっくり踏み込む	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	16	走行中はできるだけ速度を一定に保つ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	17	減速時は早めのアクセルオフ（エンジンブレーキを活用）	0.0%	2.3%	0.0%	1.3%	0.0%

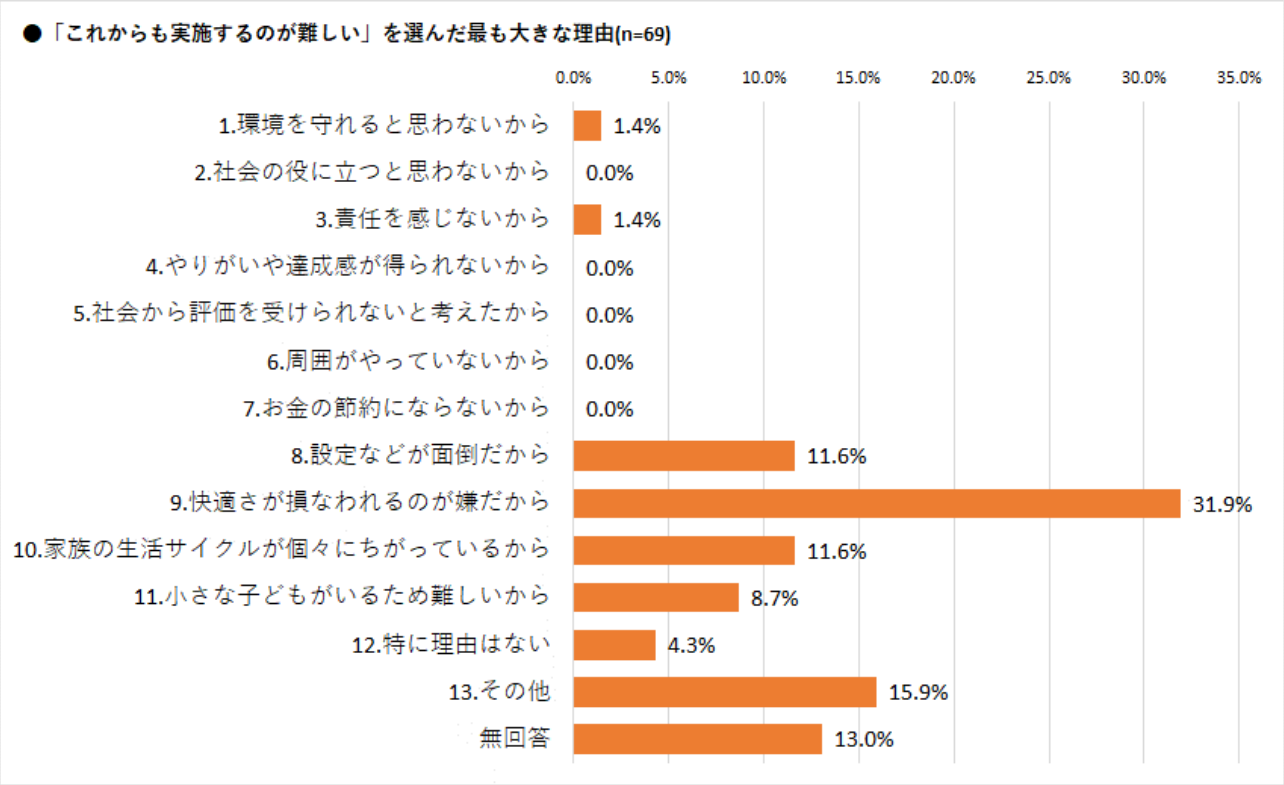
- 世帯人数別に、17 項目の中で「既に実施している」と答えた項目の数をみると、<5 人以上>世帯で実施している項目の数が多く、<1 人>世帯で少なくなっている。



3.2 省エネ行動の実施が難しい理由

3.2.1 全体

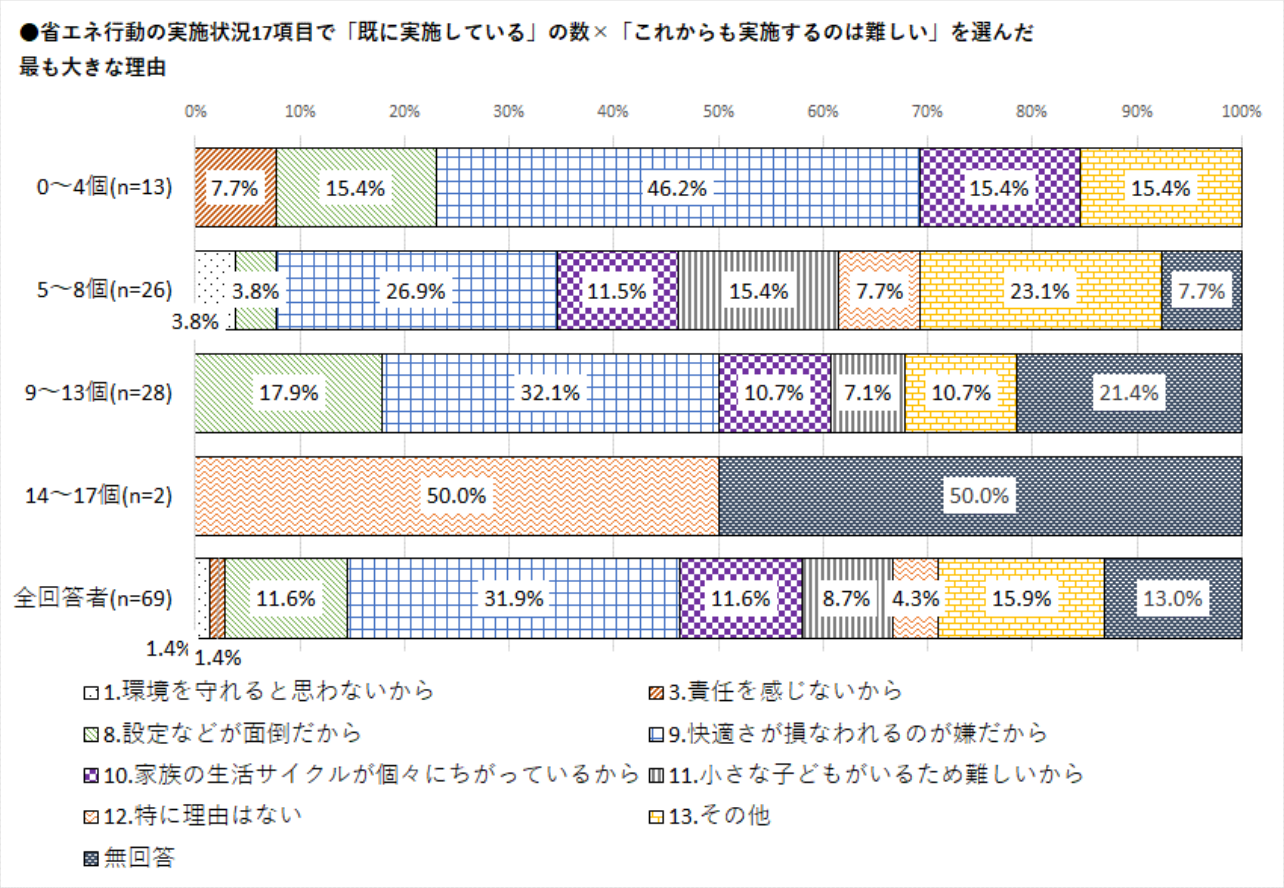
- 設問の家電使用における省エネ行動 17 項目のうち 1 項目でも「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 69 名を対象に、その理由（最大の理由 1 つのみを選択）についてたずねたところ、その理由は、「快適さが損なわれるのが嫌だから」が 3 割強と最も多く、次いで「設定などが面倒だから」「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」が 1 割強、「小さな子どもがいるため難しいから」が 1 割弱となっている。
- 特に、「エアコン（設定温度の目安）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 32 名については、そのうちの 4 割弱にあたる 12 名が「快適さが損なわれるのが嫌だから」と回答している。また、「風呂給湯器（間隔をあけずに入浴）」を「これからも実施するのは難しい」と答えた回答者 14 名についても、その 4 割強にあたる 6 名が「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」と回答している。



【その他（回答記述 11）】

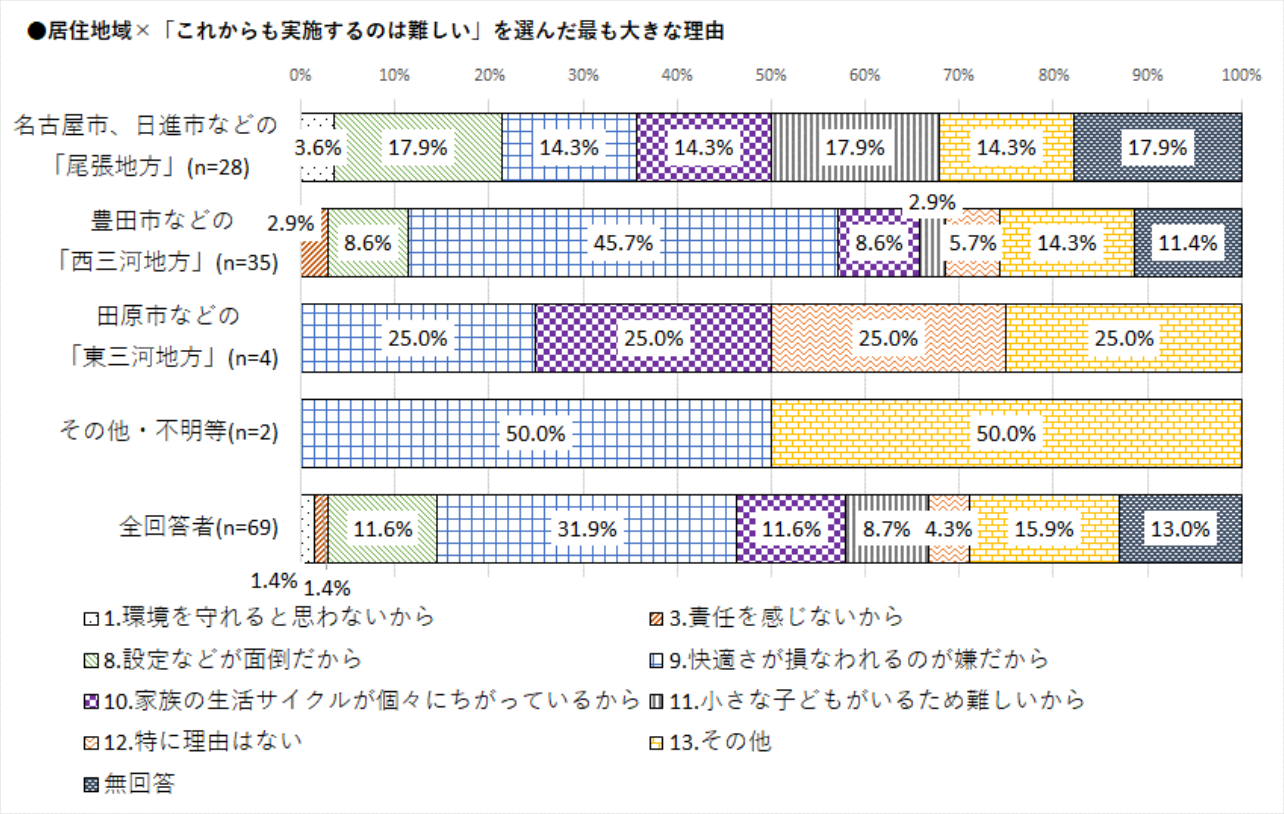
- 現実的でない
- 28℃に設定してもまったく涼しくないから
- 忘れてしまう
- ついつい安い時に多く買ってしまう
- あついから
- 生活する人数が多いため
- 家族の利用時間帯が離れているため
- 家電に不都合が発生するから
- 健康に支障をきたすから
- 犬をかっている
- ペットのために

- 省エネ行動の実施状況 17 項目で「既に実施している」の項目数別に「これからも実施するのは難しい」の理由をみていくと、省エネ行動の実施項目が<0～4 個>の回答者では「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が特に高くなっている。また、省エネ行動の実施項目が<5～8 個><9～13 個>の回答者についても、「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が高い。
- 省エネ行動の実施項目が<0～4 個>の回答者では、「責任を感じないから」の割合が、他の回答者に比べて高くなっている。



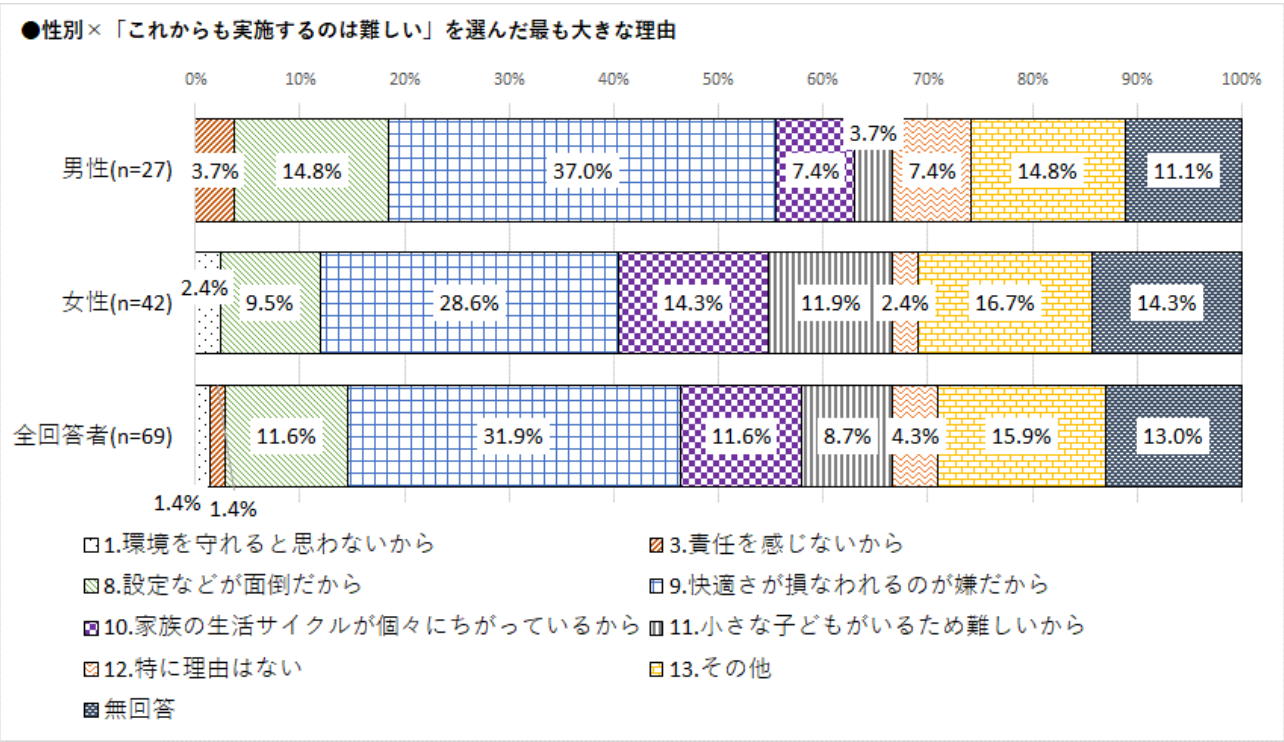
3.2.2 居住地域別

- 回答者の居住地域別に実施が難しい理由をみると、特に<西三河地方>在住者で「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が高い。
- <東三河地方>在住者では、「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が 3 地域の中で特に高く、<尾張地方>在住者では、「小さな子どもがいるため難しいから」の割合が高くなっている。



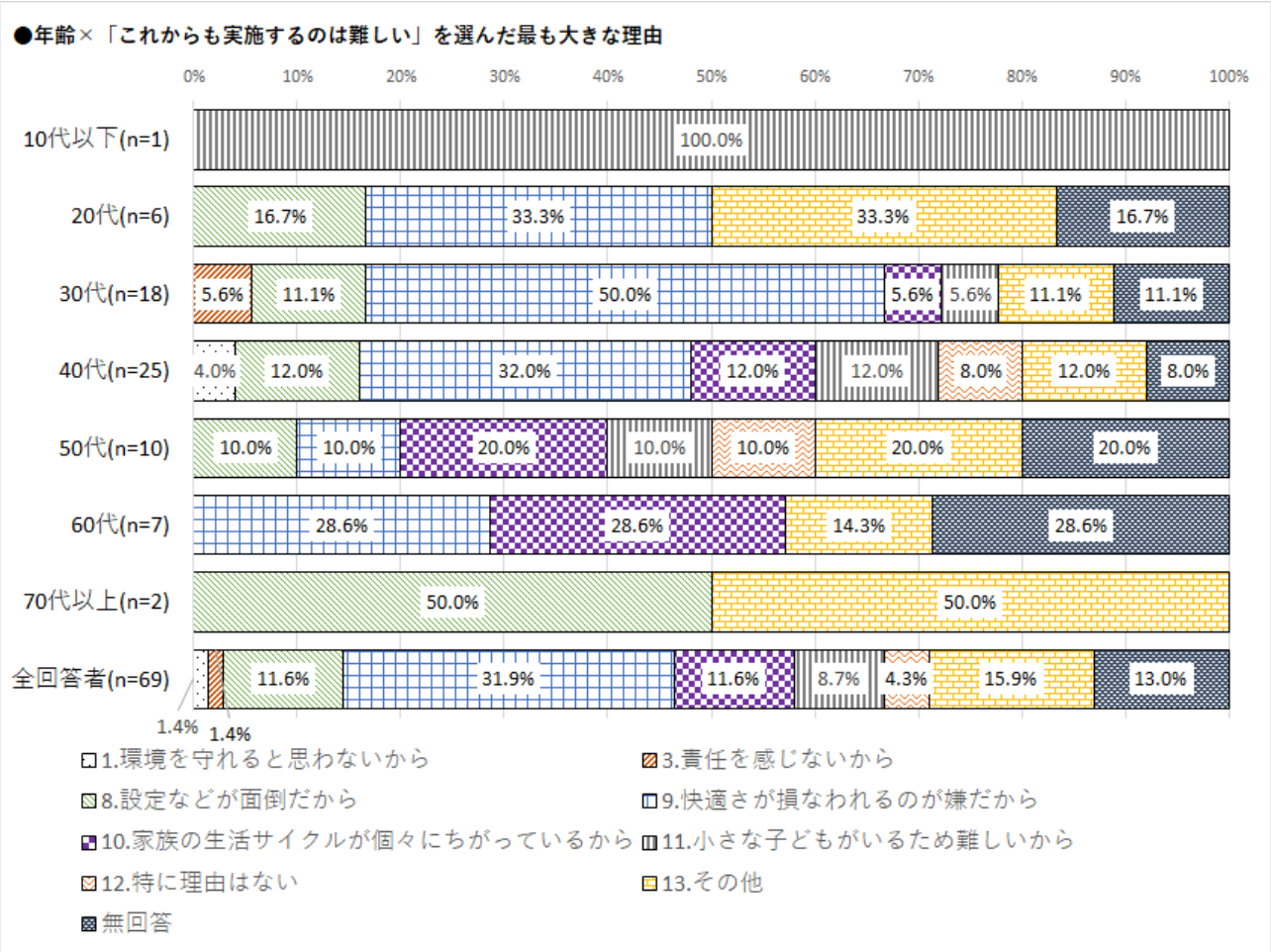
3.2.3　男女別

- 男女別に実施が難しい理由をみると、<男性><女性>ともに、「快適さが損なわれるのが嫌だから」が最も多くなっている。その他、<女性>では「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」「小さな子どもがいるため難しいから」が多く、<男性>では「設定などが面倒だから」が多くなっている。



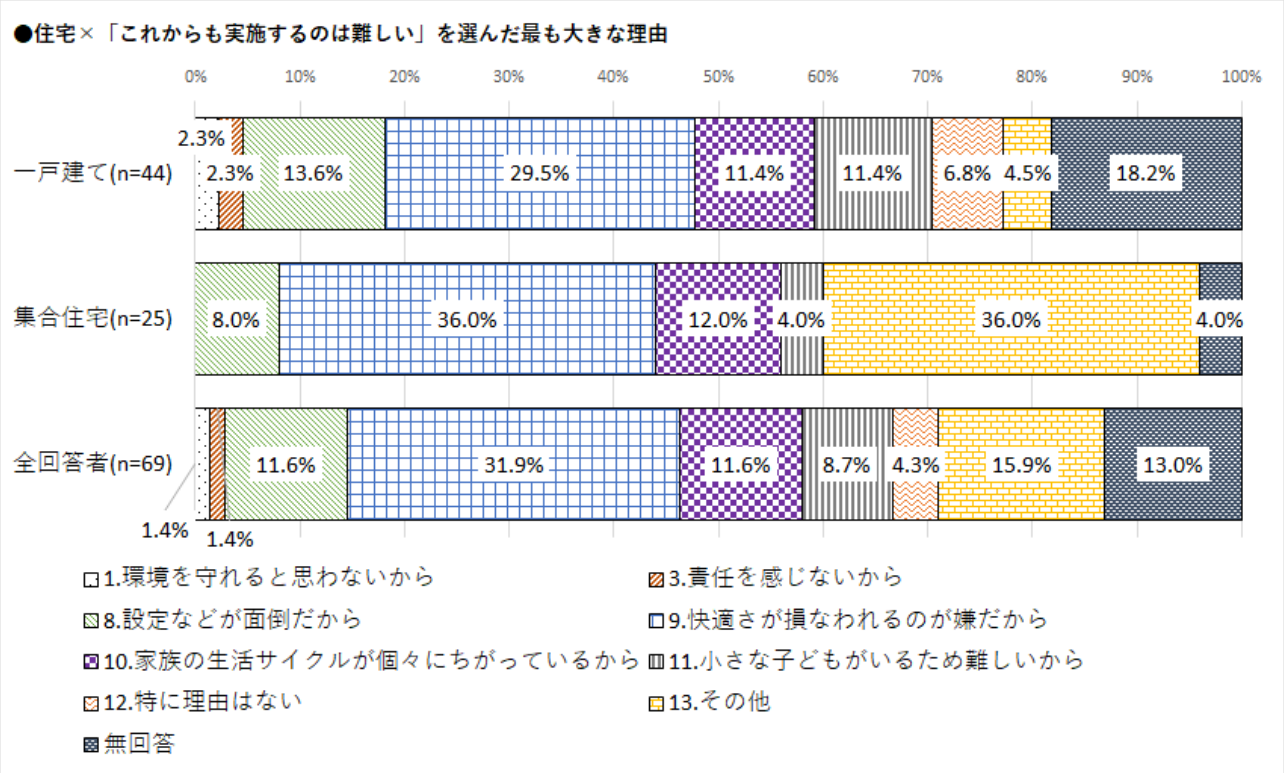
3.2.4　年齢別

- 回答者の年齢別に実施が難しい理由をみると、<20 代><30 代><４０代>で「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が最も高く、<60 代>では「快適さが損なわれるのが嫌だから」とともに「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の割合が最も高くなっている。
- <70 代以上>では「設置などが面倒だから」の割合が高くなっている。
- <50 代>「<60 代>では、他の年齢層に比べて「家族の生活サイクルが個々にちがっているから」の回答の割合が高くなっている。



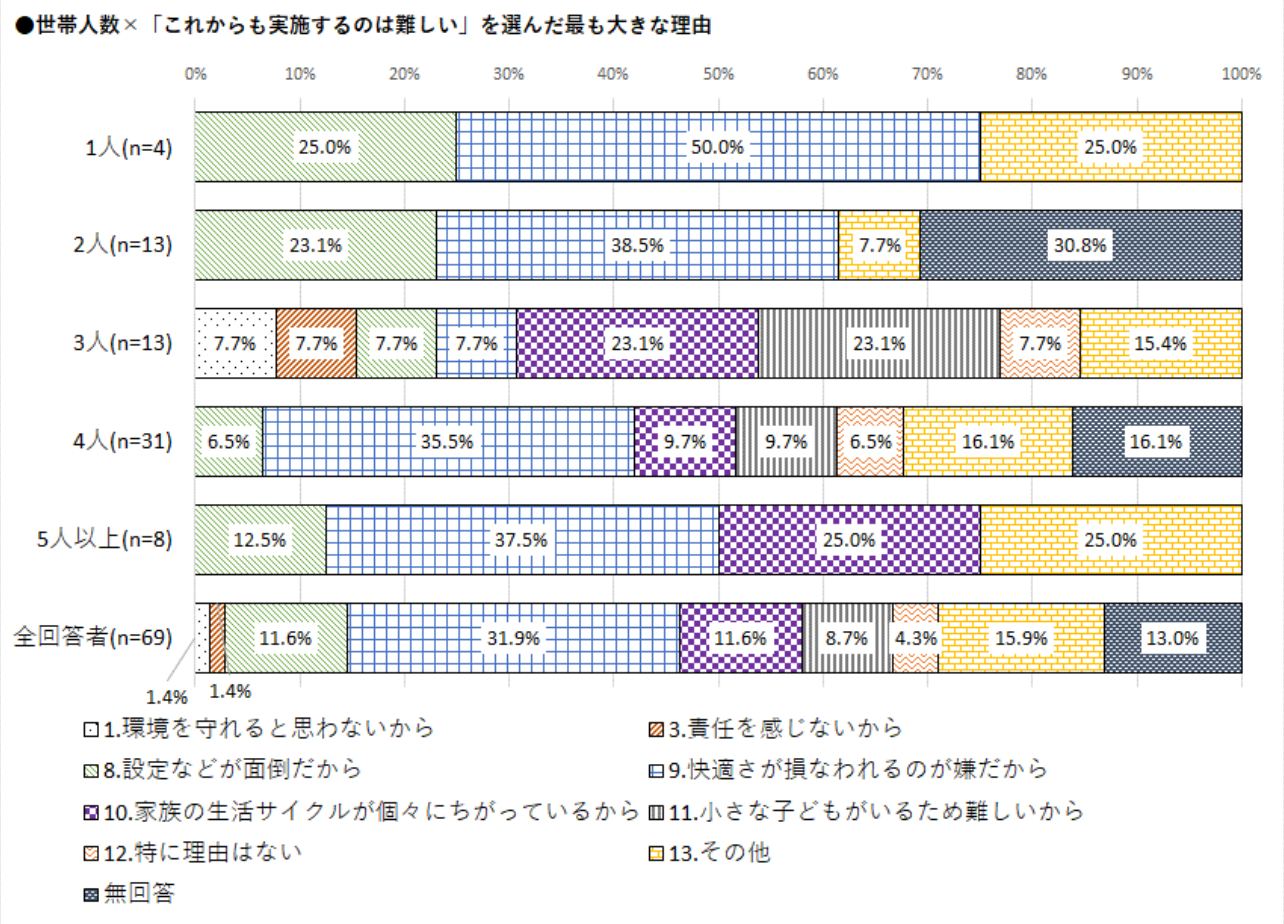
3.2.5　住宅別

- 回答者の住宅形態別に実施が難しい理由をみると、<集合住宅>居住者、<一戸建て>居住者ともに、「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が最も高くなっている。
- <一戸建て>居住者では、<集合住宅>居住者と比べて「設定などが面倒だから」と回答した人の割合が高くなっている。



3.2.6　世帯人数別

- 家庭の世帯人数別に実施が難しい理由を見ると、<3 人>世帯を除いて、「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が最も高くなっている。
- <3 人>以上の世帯では、「家族の生活サイクルが個々に違っているから」の割合が高い。また、<3 人>世帯では、「小さな子どもがいるため難しいから」の割合も高くなっている。
- <1 人>世帯および<2 人>世帯では、「設定などが面倒だから」の割合が他の世帯に比べ高くなっている。



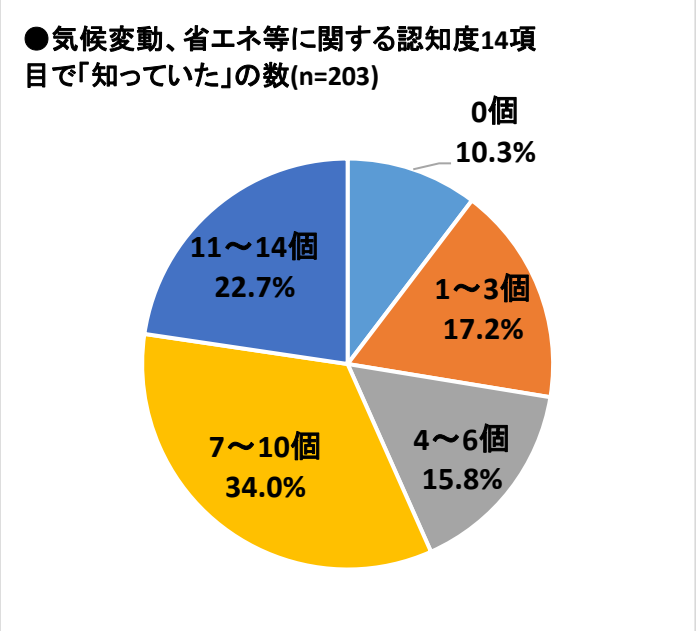
4. 気候変動・省エネに関する認知度アンケート

4.1.1 全体

- 気候変動・省エネに関係する 14 の事柄について、それぞれ知っているか否かをたずねた設問では、「4.地球温暖化は SDGs においても重要な課題として位置付けられていること」「7.温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり･･･することを」「8.温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを」「9.温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを」については、７割近くの人が「知っていた」回答しており、認知度が高くなっている。
- 「2. 1.5℃未満という目標に対して、すでに 1.1℃上昇していることを」「5.地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを」「6.何の対策もしなければ、日本の平均気温は今世紀末には最大で 4.5℃上がると予測されていることを」「14.住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを」については、4 割近くの人が「全く知らなかった」と回答しており、認知度が低くなっている。
- ほとんどの事柄について、「聞いたことはある」が 3 割程度となっており、詳しくは知らないものの、なんとなく耳にしている人が多いことがうかがえる。

		知っていた	聞いたことはある	全く知らなかった	無回答
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	41.9%	29.6%	28.6%	0.0%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	28.1%	31.5%	40.4%	0.0%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	51.7%	28.1%	18.2%	2.0%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	67.5%	23.2%	9.4%	0.0%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	22.2%	29.1%	48.3%	0.5%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	27.6%	29.1%	42.9%	0.5%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	67.0%	25.6%	7.4%	0.0%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	67.0%	20.7%	12.3%	0.0%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	70.4%	24.1%	4.4%	1.0%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	62.1%	28.1%	9.9%	0.0%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	56.2%	29.1%	14.3%	0.0%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	54.2%	29.6%	15.8%	0.0%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	45.8%	37.9%	16.3%	0.0%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	24.6%	30.5%	44.8%	0.0%

- 14 の事柄のうち「知っていた」と答えた項目の数をみると、<7～10 個>の項目を知っていた回答者が 3 割強、次いで<11～14 個>の項目を知っていた回答者が 2 割強を占め、14 項目のうち半数の 7 個以上を知っていた回答者は全体の 6 割弱となっている。

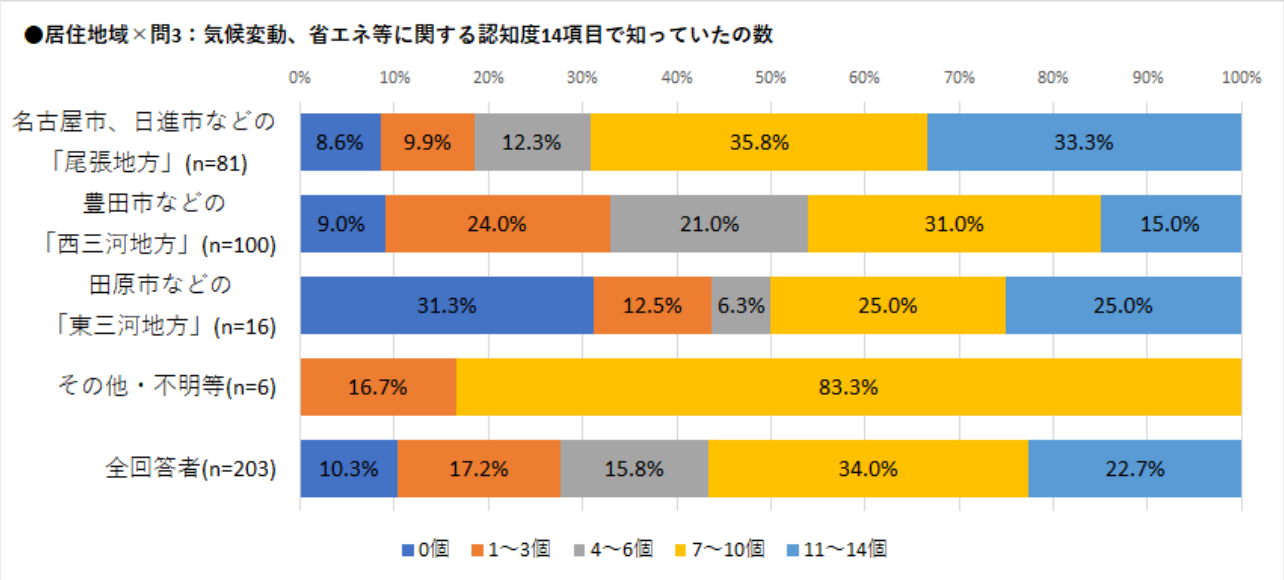


4.1.2　居住地域別

- 回答者の居住地域別に気候変動・省エネに関係する 14 の事柄に対する認知度をみると、各地域ともに同じような傾向にあるものの、全体として<尾張地方>の「知っていた」の割合が高くなっている。
- 特に、<尾張地方>の在住者の「4.地球温暖化は SDGs においても重要な課題として位置付けられていること」「7.温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり･･･することを」「8.温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを」「9.温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを」「10.温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを」を「知っていた」とする割合が他の 2 つの地域に比べ高くなっている。
- 一方、<西三河地方>と<東三河地方>在住者の「1. 2015 年のパリ協定で、気温上昇を＋1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを」「2. 1.5℃未満という目標に対して、すでに 1.1℃上昇していることを」「5.地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを」「6.何の対策もしなければ、日本の平均気温は今世紀末には最大で 4.5℃上がると予測されていることを」を「全く知らなかった」の割合が<尾張地方>に比べて高くなっている。

		「知っていた」			「聞いたことはある」			「全く知らなかった」		
	居住地域	名古屋市、日進市などの「尾張地方」(n=81)	豊田市などの「西三河地方」(n=100)	田原市などの「東三河地方」(n=16)	名古屋市、日進市などの「尾張地方」(n=81)	豊田市などの「西三河地方」(n=100)	田原市などの「東三河地方」(n=16)	名古屋市、日進市などの「尾張地方」(n=81)	豊田市などの「西三河地方」(n=100)	田原市などの「東三河地方」(n=16)
	気候変動、省エネ等に関する事柄									
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	53.1%	33.0%	43.8%	25.9%	35.0%	12.5%	21.0%	32.0%	43.8%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	42.0%	19.0%	18.8%	25.9%	36.0%	37.5%	32.1%	45.0%	43.8%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	54.3%	51.0%	37.5%	27.2%	28.0%	37.5%	17.3%	19.0%	25.0%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	77.8%	60.0%	56.3%	17.3%	28.0%	25.0%	4.9%	12.0%	18.8%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	34.6%	11.0%	37.5%	27.2%	34.0%	12.5%	38.3%	54.0%	50.0%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	38.3%	19.0%	31.3%	29.6%	32.0%	18.8%	30.9%	49.0%	50.0%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	74.1%	62.0%	56.3%	22.2%	30.0%	25.0%	3.7%	8.0%	18.8%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	76.5%	62.0%	50.0%	14.8%	27.0%	18.8%	8.6%	11.0%	31.3%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	75.3%	67.0%	56.3%	22.2%	29.0%	12.5%	1.2%	4.0%	25.0%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	75.3%	53.0%	43.8%	19.8%	35.0%	31.3%	4.9%	12.0%	25.0%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	65.4%	47.0%	56.3%	19.8%	38.0%	25.0%	13.6%	15.0%	18.8%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	59.3%	53.0%	37.5%	25.9%	30.0%	43.8%	14.8%	17.0%	12.5%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	48.1%	45.0%	50.0%	38.3%	38.0%	43.8%	13.6%	17.0%	6.3%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	27.2%	25.0%	18.8%	30.9%	29.0%	43.8%	42.0%	46.0%	37.5%

- 回答者の居住地域別に 14 の事柄のうち「知っていた」と答えた項目の数をみると、<尾張地方>在住者の「知っていた」の項目数が、<西三河地方><東三河地方>在住者に比べ多くなっている。
- <東三河地方>在住者では、「知っていた」項目数を＜0 個＞と答えた回答者の割合が<尾張地方><西三河地方>に比べ高くなっている。

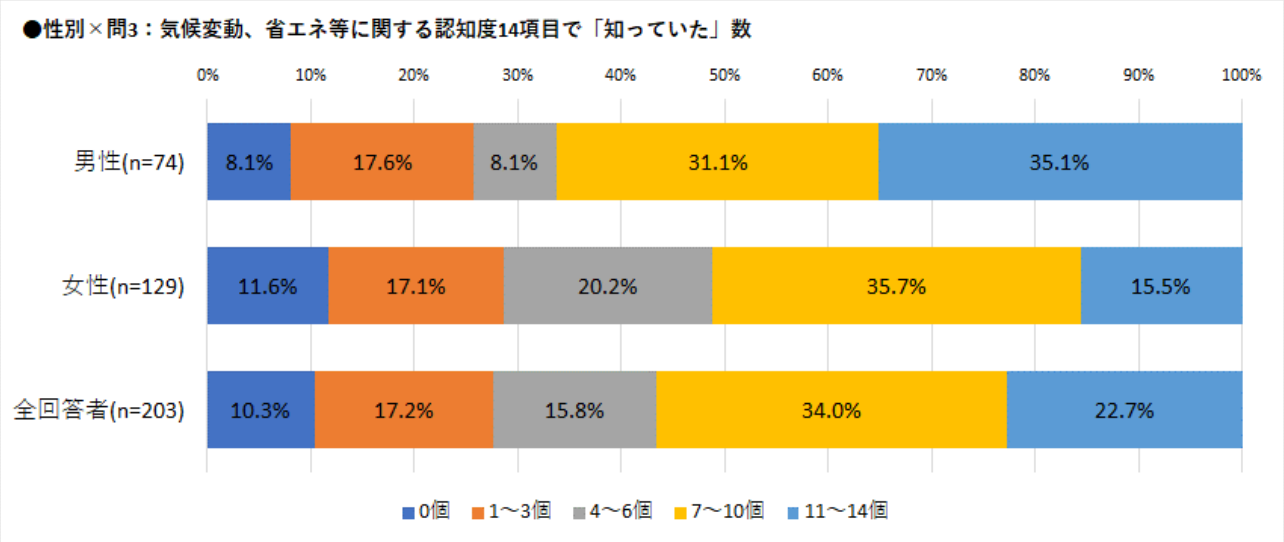


4.1.3 男女別

- 回答者の男女別に気候変動・省エネに関係する 14 の事柄に対する認知度をみると、「9.温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを」を除くすべての事柄について、<女性>に比して<男性>の「知っていた」割合が高くなっている。
- 特に、「1. 2015 年のパリ協定で、気温上昇を＋1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを」「2. 1.5℃未満という目標に対して、すでに 1.1℃上昇していることを」「3.世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も『2050 年カーボンニュートラル宣言』を表明したことを」「5. 地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを」については、<男性>の「知っていた」とする割合は<女性>に比べかなり高い。
- また、<女性>の「1. 2015 年のパリ協定で、気温上昇を＋1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを」「2. 1.5℃未満という目標に対して、すでに 1.1℃上昇していることを」「5. 地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを」「6.何の対策もしなければ、日本の平均気温は今世紀末には最大で 4.5℃上がると予測されていることを」の「全く知らなかった」割合が高くなっている。

		「知っていた」		「聞いたことはある」		「全く知らなかった」	
	性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	気候変動、省エネ等に関する事柄	(n=74)	(n=129)	(n=74)	(n=129)	(n=74)	(n=129)
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	62.2%	30.2%	24.3%	32.6%	13.5%	37.2%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	43.2%	19.4%	25.7%	34.9%	31.1%	45.7%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	71.6%	40.3%	17.6%	34.1%	8.1%	24.0%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	78.4%	61.2%	17.6%	26.4%	4.1%	12.4%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	31.1%	17.1%	25.7%	31.0%	43.2%	51.2%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	37.8%	21.7%	27.0%	30.2%	35.1%	47.3%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	70.3%	65.1%	23.0%	27.1%	6.8%	7.8%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	67.6%	66.7%	21.6%	20.2%	10.8%	13.2%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	68.9%	71.3%	25.7%	23.3%	4.1%	4.7%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	63.5%	61.2%	28.4%	27.9%	8.1%	10.9%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	58.1%	55.0%	27.0%	30.2%	14.9%	14.0%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	55.4%	53.5%	32.4%	27.9%	10.8%	18.6%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	45.9%	45.7%	37.8%	38.0%	16.2%	16.3%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	27.0%	23.3%	28.4%	31.8%	44.6%	45.0%

- 回答者の男女別に 14 の事柄のうち「知っていた」と答えた項目の数をみていくと、<女性>よりも<男性>の「知っていた」項目数が多いことがわかる。



4.1.4　年齢別

- 回答者の年齢別に気候変動・省エネに関係する 14 の事柄に対する認知度をみると、全般的に<70 代>の「知っていた」の割合が高く、<30 代>と<40 代>で低くなっている。
- <10 代>では、「13. 10 年前に比べると、家電製品によっては 3 割から 8 割も電気代がお得であることを」「14.住宅の断熱によってエネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを」の「知っていた」人はいない。

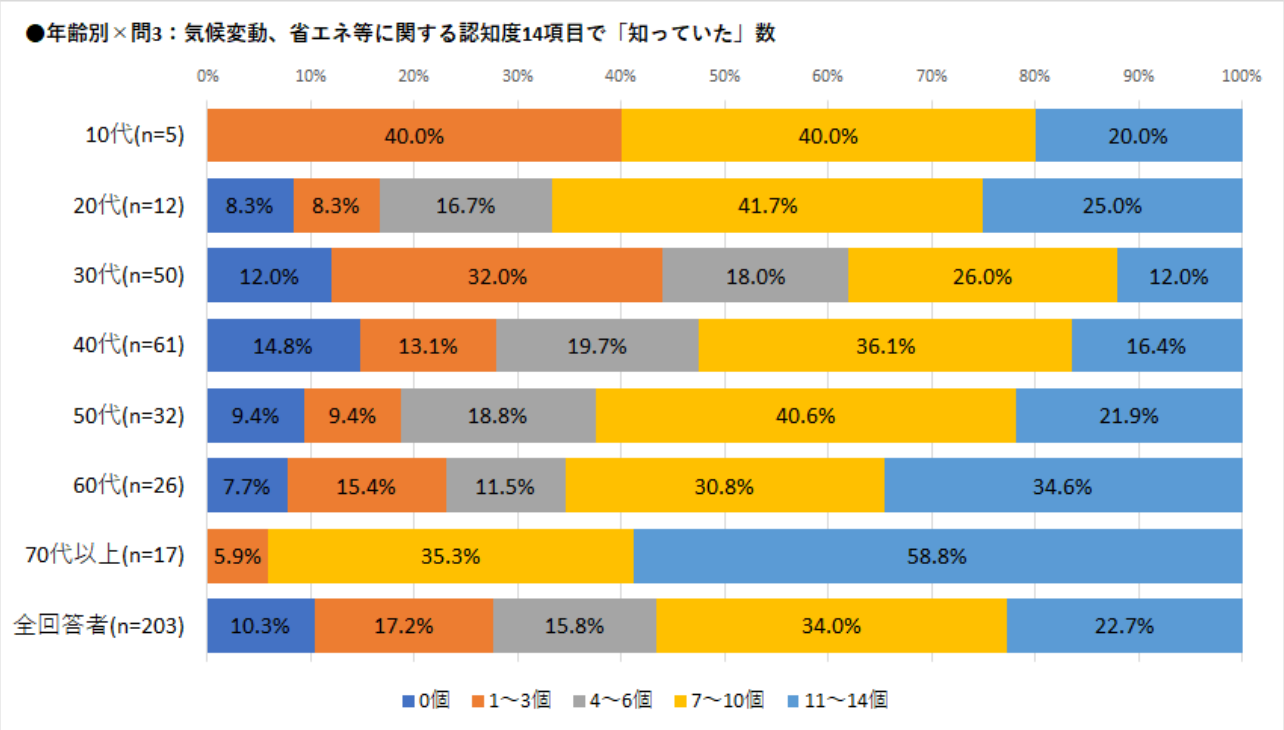
		「知っていた」						
	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	気候変動、省エネ等に関する事柄	(n=5)	(n=12)	(n=50)	(n=61)	(n=32)	(n=26)	(n=17)
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	60.0%	58.3%	28.0%	36.1%	40.6%	50.0%	76.5%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	60.0%	41.7%	16.0%	24.6%	21.9%	30.8%	64.7%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	40.0%	75.0%	42.0%	45.9%	56.3%	50.0%	82.4%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	100.0%	75.0%	52.0%	65.6%	78.1%	65.4%	88.2%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	40.0%	8.3%	10.0%	13.1%	31.3%	26.9%	70.6%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	40.0%	41.7%	14.0%	18.0%	25.0%	42.3%	70.6%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	80.0%	66.7%	58.0%	59.0%	78.1%	76.9%	82.4%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	60.0%	58.3%	62.0%	60.7%	75.0%	73.1%	88.2%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	60.0%	91.7%	62.0%	67.2%	75.0%	65.4%	94.1%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	60.0%	75.0%	40.0%	60.7%	68.8%	73.1%	94.1%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	40.0%	58.3%	46.0%	49.2%	59.4%	65.4%	94.1%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	40.0%	33.3%	42.0%	59.0%	50.0%	65.4%	82.4%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	0.0%	25.0%	32.0%	52.5%	56.3%	50.0%	64.7%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	0.0%	16.7%	12.0%	19.7%	34.4%	38.5%	52.9%

		「聞いたことはある」						
	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	気候変動、省エネ等に関する事柄	(n=5)	(n=12)	(n=50)	(n=61)	(n=32)	(n=26)	(n=17)
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	0.0%	25.0%	24.0%	32.8%	37.5%	34.6%	23.5%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	0.0%	25.0%	24.0%	36.1%	34.4%	50.0%	17.6%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	40.0%	16.7%	22.0%	34.4%	34.4%	30.8%	11.8%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	0.0%	16.7%	32.0%	19.7%	18.8%	34.6%	11.8%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	20.0%	16.7%	30.0%	31.1%	25.0%	38.5%	23.5%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	20.0%	0.0%	28.0%	31.1%	43.8%	34.6%	11.8%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	0.0%	0.0%	28.0%	37.7%	18.8%	23.1%	17.6%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	40.0%	8.3%	20.0%	27.9%	18.8%	15.4%	11.8%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	40.0%	0.0%	28.0%	31.1%	15.6%	30.8%	5.9%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	20.0%	16.7%	40.0%	36.1%	21.9%	19.2%	0.0%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	20.0%	25.0%	32.0%	37.7%	25.0%	26.9%	5.9%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	40.0%	33.3%	36.0%	24.6%	28.1%	34.6%	17.6%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	60.0%	41.7%	38.0%	36.1%	40.6%	38.5%	29.4%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	40.0%	0.0%	24.0%	41.0%	34.4%	30.8%	23.5%

- <20 代>と<30 代>の「全く知らなかった」と回答した割合が他の年齢に比べて高くなっている。
- <10 代>から<50 代>では、「2. 1.5℃未満という目標に対して、すでに 1.1℃上昇していることを」「5. 地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを」「6.何の対策もしなければ、日本の平均気温は今世紀末には最大で 4.5℃上がると予測されていることを」「14.住宅の断熱によってエネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを」の「全く知らなかった」の割合が高くなっている。

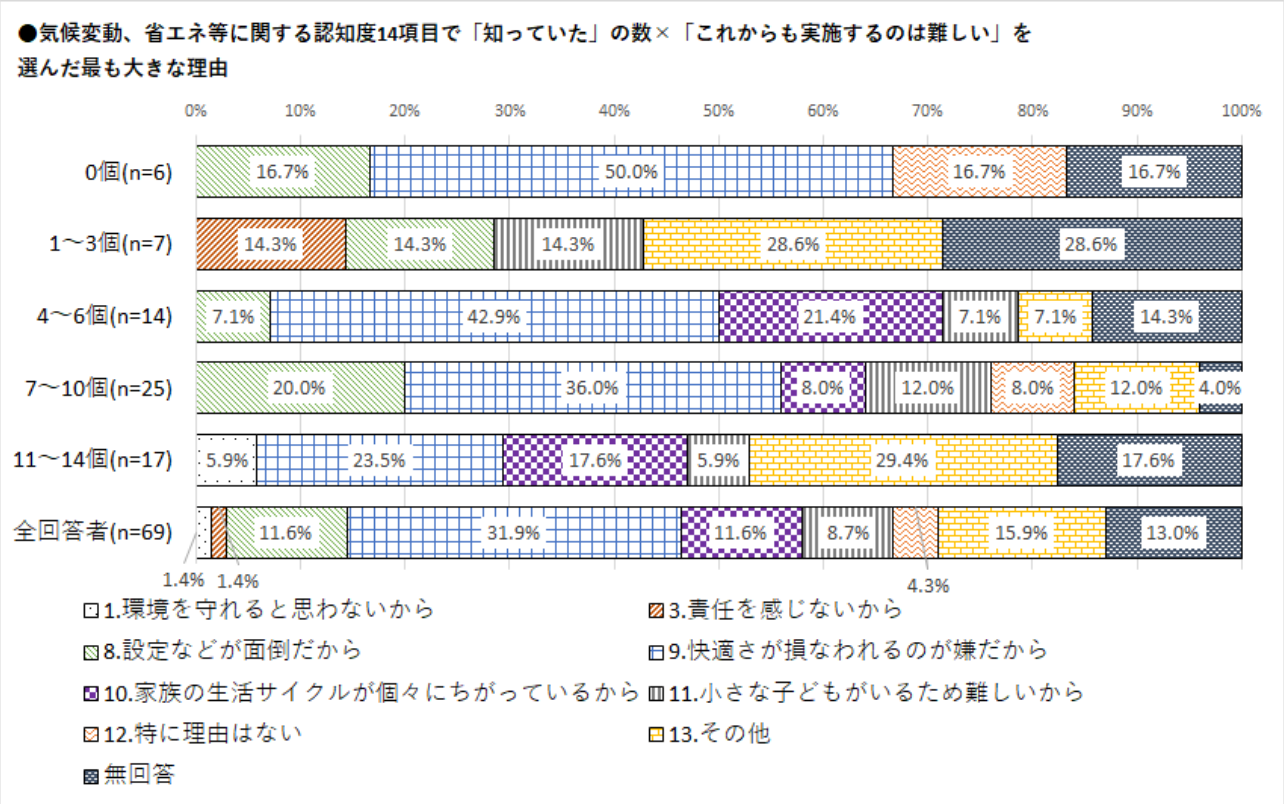
		「全く知らなかった」						
	年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
	気候変動、省エネ等に関する事柄	(n=5)	(n=12)	(n=50)	(n=61)	(n=32)	(n=26)	(n=17)
1	2015年のパリ協定で、気温上昇を+1.5℃未満に抑えるという目標が定められたことを…	40.0%	16.7%	48.0%	31.1%	21.9%	15.4%	0.0%
2	1.5℃未満という目標に対して、すでに1.1℃上昇していることを…	40.0%	33.3%	60.0%	39.3%	43.8%	19.2%	17.6%
3	世界各国で脱炭素が表明されており、わが国も「2050年カーボンニュートラル宣言」（温室効果ガスの排出を実質ゼロにする）を表明したことを…	20.0%	8.3%	34.0%	19.7%	9.4%	7.7%	5.9%
4	地球温暖化は、SDGs（持続可能な開発目標）においても重要な課題として位置付けられていることを…	0.0%	8.3%	16.0%	14.8%	3.1%	0.0%	0.0%
5	地球温暖化を予測した眞鍋淑郎（まなべしゅくろう）さんがノーベル物理学賞を受賞されたことを…	40.0%	75.0%	60.0%	54.1%	43.8%	34.6%	5.9%
6	何の対策もしなければ、日本の年平均気温は今世紀末には最大で4.5℃上がると予測されていることを…	40.0%	58.3%	58.0%	49.2%	31.3%	23.1%	17.6%
7	温暖化が進むと、夏の猛暑や大雨、台風がさらに激しくなったり、暑さによる熱中症や感染症が増えたり、大雨による土砂災害や水害が増えると考えられていることを…	20.0%	33.3%	14.0%	3.3%	3.1%	0.0%	0.0%
8	温暖化によって、農作物の収量が減ったり、味が落ちたりすることを…	0.0%	33.3%	18.0%	11.5%	6.3%	11.5%	0.0%
9	温暖化によって、日本や世界の多くの動植物の絶滅の危険性が高まることを…	0.0%	8.3%	10.0%	1.6%	3.1%	3.8%	0.0%
10	温暖化が社会、経済、健康などに及ぼすリスクは、気候危機と呼ばれるほど深刻になってきていることを…	20.0%	8.3%	20.0%	3.3%	9.4%	7.7%	5.9%
11	温暖化によって生じた多くの変化（海洋、氷床、海面上昇）は不可逆的である（元に戻せない）ことを…	40.0%	16.7%	22.0%	13.1%	15.6%	3.8%	0.0%
12	家庭で消費電力量が大きい家電は、①冷蔵庫、②照明器具、③テレビ、④エアコンであることを…	20.0%	33.3%	22.0%	16.4%	18.8%	0.0%	0.0%
13	10年前に比べると、家電製品によっては3割から8割も電気代がお得（冷蔵庫43%、テレビ32%、照明器具（白熱灯→LED）86%）であることを…	40.0%	33.3%	30.0%	11.5%	3.1%	11.5%	5.9%
14	住宅の断熱によって、エネルギー消費量を減らせるだけでなく、病気になる率が激減していることを…	60.0%	83.3%	64.0%	39.3%	31.3%	30.8%	23.5%

- 回答者の年齢別に 14 の事柄のうち「知っていた」と答えた項目数をみると、<20 代>および<50代>以上で「知っていた」と答えた項目数が多く、<30 代>で「知っていた」と答えた項目数が少なくなっている。
- また、<30代>以上では、年齢が高くなるほど「知っていた」とする項目数が多くなる傾向がみられる。



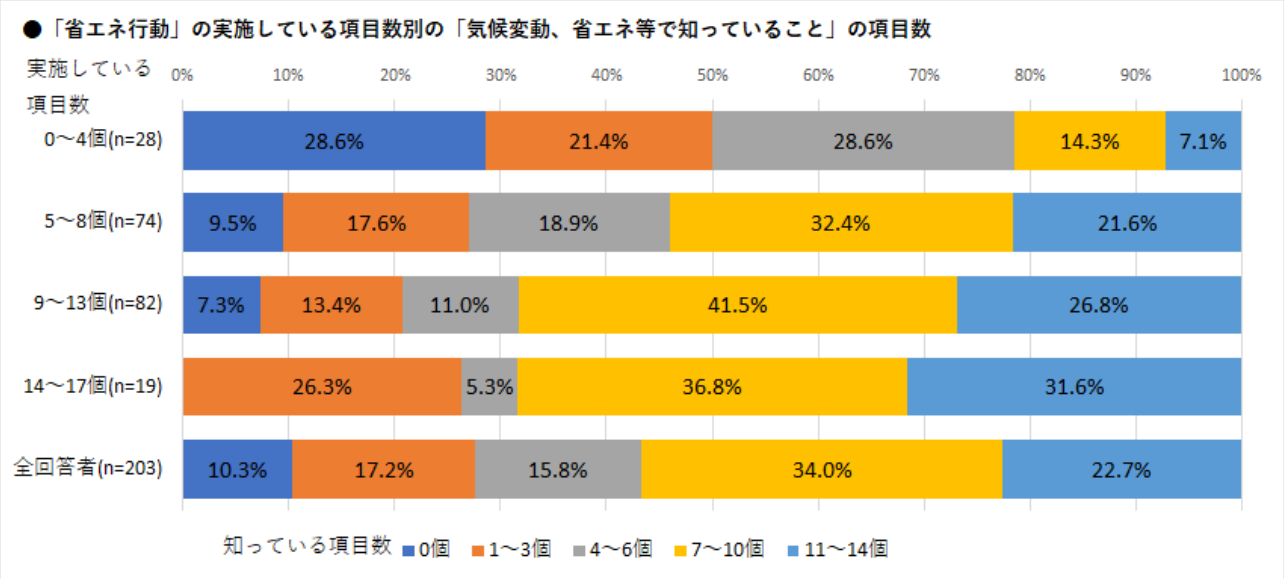
4.1.5 「知っていた」の項目数別にみた省エネ行動が難しい理由

- 14 の事柄のうち「知っていた」と答えた項目数別に、家電の省エネ行動で「これからも実施するのは難しい」を選んだ最も大きな理由をみると、全体的に「快適さが損なわれるのが嫌だから」の割合が高い。
- <1~3 個>の回答者では、他の回答者に比べて「責任を感じないから」の割合が高くなっている。



4.1.6 「省エネ行動」を実施している項目数別にみた「気候変動、省エネ等で知っていること」の項目数

- 「省エネ行動」を実施している項目数別に、14 の事柄「気候変動、省エネ等で知っていること」について「知っていた」と答えた項目数をみると、全体的に「既に実施している」とする項目数が多い人ほど、気候変動や省エネに関わる新しい情報に敏感であり、多くの情報を得ていることが分かる。



※「省エネ行動」は、地球温暖化対策として以前から提唱されてきた行動である一方、「気候変動、省エネ等で知っていること」の 14 の事柄は、地球温暖化に関わる最近の情報が多いことから、「省エネ行動」をしている人、あるいはしていない人が、新しい情報に対してて、いかに敏感であるかを見るためこのような分析を行った。

5. 自由記入欄に記述された意見

省エネ等で取り組んでいることや疑問に思っていること、調査の感想などを、調査票末尾の自由記入欄に11 名が記述をした。その内容は下記の通りである。

整理番号	内　　容
58	知らなかった事が多かった。
117	太陽光ソーラーパネルは有効的といいますが、何となくその近辺が暑く感じます。地面温度 up はしてないんでしょうか？
125	皆がやれば良い方向に進むだろう
132	"がまん"するのではなく、楽しくくらしていく
135	地球を守ろう！
143	カーボンニュートラルについて知りたいです。
147	プラスチックのゴミはなぜへらないのか？
148	知らないことも多くとても勉強になりました
176	ソーラーパネル等製造に環境負荷がかかっていること
180	エアコンの電源はこまめに消した方がいいのか、つけっぱなしの方がいいのか、どっちもきいたことがあって、悩んでいます
189	CO2 は本当に地球温暖化の原因なのか？

令和４年度
地域における地球温暖化防止活動促進事業
（愛知県地球温暖化防止活動推進センター）

年次レポート（家庭の省エネアンケート、及び、気候変動・
省エネに関する認知度アンケートの集計結果）

報　告　書

発行　令和５年２月

問合せ先　一般社団法人 環境創造研究センター
〒461-0005　愛知県名古屋市東区東桜 2-4-1
TEL：052-934-7295　FAX：052-932-7296
E-mail：cca-info@kankyosoken.or.jp
URL：http://www.kankyosoken.or.jp/